

平成27年

2/28 (sat)

12:00+18:00

秋葉原UDXシアター

<http://www.udx-t.jp/access.html>
(JR秋葉原駅電気街口より徒歩3分)

参加費無料

Webでの事前登録制。
どなたでも参加できますが、定員150名に
なり次第受付を締め切ります。
<http://www.cmsi-initiative.jp/>

<シンポジウム>

■ 芸術と学術の融合

水分子のダンスレボリューション

監修 関野秀男(TUT)

■ 課題提起

見える化に向けたCMSIのアクティビティ

藤堂眞治(東京大-CMSI)

次世代シミュレーション技術者教育は 学生を引き付けられるのか?

後藤仁志(TUT-ADSIM)

■ 招待講演

知覚の冒険と理解のデザイン

飯島ツトム(IDL理事/CO-WORKS代表)

身近すぎて伝えにくい物質世界の魅力

青山聖子(サイテック・コミュニケーションズ/
早稲田大非常勤講師)

科学を楽しく伝えるには?

黒ラブ・サイエンスコミュニケーション論

黒ラブ教授(吉本興業/
サイエンスコミュニケーター/大学講師)

国立大学法人
豊橋技術科学大学

計算物質科学イニシアティブ

CMSI

<パネルディスカッション>

スーパーコンピュータが社会に絡め込むインパクト

パネリスト：飯島ツトム、青山聖子、
黒ラブ教授、平尾公彦、川口悦生(文科省)、関野秀男
モデレータ：古宇田光(東京大-CMSI)

ポジショントーク：「京」からポスト「京」へ

平尾公彦(理研AICS)

<展示>@シアターホワイエ

進化する分子模型ほか

監修 松本正和(岡山大)

第3回 TUT-CMSI 計算物質科学“見える化”シンポジウム

物質と社会をつなぐ

私たちのまわりのすべての物質は原子や分子が集まってできています。物質の性質や機能を決めているのも原子や分子です。「京」を頂点とする最先端のスーパーコンピュータを活用した「計算物質科学」は、新たな物質を社会に送りだそうとしています。計算物質科学は、これからの社会でどのような役割を果たしていくのでしょうか？ 科学と社会のつながりを、参加者全員で議論してみませんか。

第3回

TUT-CMSI
計算物質科学“見える化”
シンポジウム

物質と社会 をつなぐ

日時 ■ 平成27年2月28日(土) 12:00 ~ 18:00

場所 ■ 秋葉原UDXシアター

http://www.udx-t.jp/access.html
(JR秋葉原駅電気街口より徒歩3分)

参加 ■ 無料 (webでの事前登録制。
どなたでも参加できます。

定員150名になり次第受付締切)

http://www.cms-initiative.jp/



主催 ■ 豊橋技術科学大学 (TUT)、
計算物質科学イニシアティブ (CMSI)
(東京大学物性研究所、自然科学研究機構
分子科学研究所、東北大学金属材料研究所)

協力 ■ 次世代シミュレーション
技術者教育推進室 (ADSIM)、
文部科学省HPCI 戦略プログラム (分野2)、
理化学研究所計算科学研究機構 (理研AICS)、
文部科学省ポスト「京」重点課題 (7)

シンポジウム

■ 芸術と学術の融合

13:00 ~ 13:10

「水分子のダンスレボリューション」

監修 関野秀男 (TUT)、映像 松本正和 (岡山大)、
音楽 米澤一平、TAKESHI

■ 挨拶

13:10 ~ 13:25

TUT副学長 井上光輝
CMSI統括責任者 常行真司 (東京大)
文部科学省 計算科学技術推進室長 川口悦生

■ 課題提起

13:25 ~ 13:40

「見える化に向けたCMSIのアクティビティ」

藤堂真治 (東京大-CMSI)

13:40 ~ 13:55

「次世代シミュレーション技術者教育は 学生を引き付けられるのか？」

後藤仁志 (TUT-ADSIM)

■ 招待講演

13:55 ~ 14:40

「知覚の冒険と理解のデザイン」

飯島ツトム (IDL理事/CO-WORKS代表)

14:40 ~ 15:00 休憩1 (展示)

15:00 ~ 15:45

「身近すぎて伝えにくい物質世界の魅力」

青山聖子 (サイテック・コミュニケーションズ/
早稲田大非常勤講師)

15:45 ~ 16:30

「科学を楽しく伝えるには? 黒ラブ・サイエンスコミュ ニケーション論」

黒ラブ教授 (吉本興業/サイエンスコミュニケーター/
大学講師)

16:30 ~ 16:50 休憩2 (展示)

パネルディスカッション

■ スパコンが社会に溶け込むインパクト

16:50 ~ 17:00

「「京」からポスト「京」へ」

平尾彦彦 (理研AICS)

17:00 ~ 18:00

パネリスト: 飯島ツトム、青山聖子、黒ラブ教授、
平尾彦彦、川口悦生、関野秀男

モデレーター: 古宇田光 (東京大-CMSI)

18:00 クロージング

展示 (内容)

■ 進化する分子模型

監修 松本正和 (岡山大)

12:00~13:00 14:40~15:00 16:30~16:50

(シンポジウム開始前) (休憩1) (休憩2)

<シアターホワイエ>

1. 「次世代シミュレーション技術者教育推進室」

後藤仁志 (TUT-ADSIM)

2. 「黒ラブ教授コーナー」

黒ラブ教授 (吉本興業/サイエンスコミュニケーター/
大学講師)

3. 「CMSI活動紹介 (TORRENT)」

CMSI広報小委員会

<ゲストルームD>

4. 「進化する分子模型」

松本正和 (岡山大)

5. 「3Dプリンターを用いた結晶構造模型作製」

山崎淳 (東京大)、日本バイナリー

6. 「物質科学計算の映像コーナー」

CMSI研究課題・分野振興活動

7. 「計算物質科学アプリケーションソフトウェア

ポータルサイト「MateriApps」

MateriApps開発チーム (CMSI)

8. 「電子・原子・分子の魅せ方~3D電子雲クリス タルと次世代分子模型」

時田澄男 (ネビュラ)/日本コンピュータ化学会
科学コミュニケーション室

9. 「量子ダイナミックスの楽しい表現」

玉木竜二 (TUT)

講師紹介

【飯島ツトム】

一般社団法人イノベーション・デザイン・ラボ理事/
CO-WORKS代表

デザイン先導型のイノベーションを数々のプロ
ジェクトにおいて推進。様々な分野の企業の開発
アドバイザーを務める一方、地域ブランド創出事
業、NPO/NGOなどのブランディングを行う。プロダ
クト・デザイン、コミュニケーション・デザイン、プ
ランディングの経験を統合した社会全体の価値を総
合的にあげていくソーシャル・ブランディングを提
唱、新標準の事業コンセプトの創出を行っている。

【青山聖子】

(有)サイテック・コミュニケーションズ プロデューサー/
早稲田大学大学院政治学研究所非常勤講師
研究機関の広報誌やウェブサイトの企画・制作、
科学館の展示企画、論文や教科書の邦訳などに
従事する一方、ライティングを中心に「科学の伝え
方」を講義。これまでにインタビューした研究者
はおそらく数百人。

【黒ラブ教授】

大学の先生芸人(吉本興業)/国立科学博物館認定
サイエンスコミュニケーター

理系お笑いネタを披露。女子中高生、文系も多い
のが特徴。科学が苦手な人向けの科学コミュニ
ケーションとして注目されている。TV(サイエンス
ZERO等)、雑誌やイベントで活動中。2012年、JST
サイエンスアゴラ賞、フジテレビ賞受賞。